

富士見小の 作文 チャレンジノート

書く力は、国語の学習のみで養われるものではなく、日常的に書くこと、書いたものを読み合うことを繰り返すことで、書くことに慣れ、書く力が付きます。

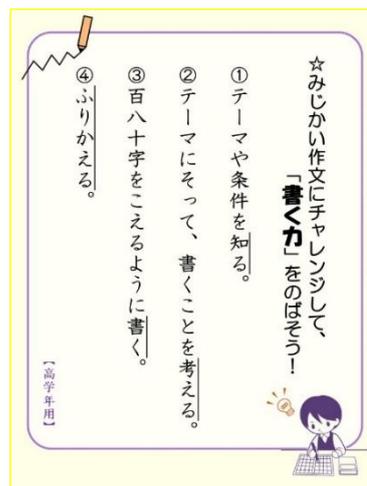
短作文とは…

「作文チャレンジノート」を作りました。子供たちが書くことに慣れ、計画的に各技能を指導し、人にわかりやすく説明したり、作文したりする能力を育成します。

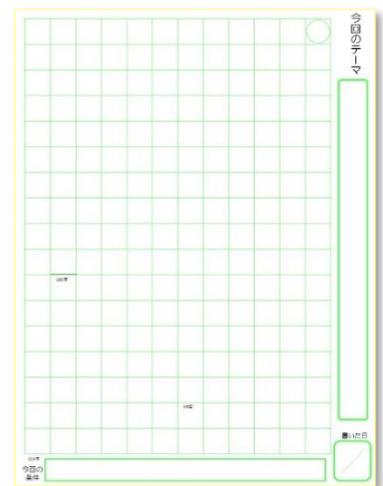
毎週木曜日 朝の15分間 年間40回程度
その日に提示されるテーマに沿って、書き綴ります。



〔低学年用 表紙〕



〔中学年用 書き方〕



〔高学年用 原稿〕



【取り組み手順】

- ① 担任が、今日のテーマと約束（条件）を提示する。
 - ② 1分間、テーマと条件をもとに構想を練る。
 - ③ 担任の合図で書き始める。10分間程度とする。
 - ④ 残り1分を知らせ、文書をまとめさせる。
 - ⑤ 時間内に必ず句点で終わらせるようにする。
 - ⑥ 担任の合図で作文をやめ、1分間で、文字数と使った漢字数を記録し、自己評価する。
 - ⑦ できるだけ次の日までに、認印やコメント等で評価する。
 - ⑧ 作文を読み合ったり、（提示した条件に合っている）作文を学級で紹介したりすることが効果的である。
- ※ 留意点 ・字の丁寧さや漢字の使用は強い。
・担任のほか、副担任も同様に指導に当たる。